

# 令和元年度 施策評価シート

## 1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	08 防災・防犯 ～災害に強く犯罪のないまち～		
	施策	35 防犯 - 防犯体制を強化し、犯罪のないまちづくりを目指します -		
重点プロジェクト				
主管課	総務部 危機管理防災課	評価責任者	米村 芳一	
		評価日	令和2年5月22日	
関連課	広報広聴課、協働推進課、高齢福祉課、建築課、学校教育課			
目標	犯罪のない安全で安心なまちづくりのために市民一人ひとりの防犯意識の向上を図る。また、関係機関と連携し、地域ぐるみの防犯体制の整備・充実を図り、次世代に継承されていく防犯体制を構築する。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 防犯意識の普及・向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○犯罪情勢に応じ、自転車利用者や高齢者など、適時・適切な防犯啓発活動を実施する。</li> <li>○不審者に対する児童への防犯教育を行い、防犯意識向上を図る。</li> <li>○重大犯罪発生時における、迅速・的確な情報発信を実施する。</li> </ul> <p>(2) 防犯体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自主防犯団体の活性化を図ることにより、地域ぐるみの防犯体制の確立を目指す。</li> <li>○関係機関・団体による児童の見守り強化を支援する。</li> <li>○関係機関と連携し、空き家の適正管理と利活用の体制づくりを行う。</li> </ul>			

## 2. 施策指標と達成状況

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	刑法犯総数					
		説明	市内の刑法犯罪認知件数。 安心安全なまちづくりの進展状況を見るための指標。					
		単位	件					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	910	900	891	882	872	860
		実績値	935	744				
	指標 2	指標名	街頭犯罪件数					
		説明	市内の街頭犯罪発生件数。刑法犯のうち8罪種（路上強盗、ひったくり、自動車盗、車上ねらい、オートバイ盗、自転車盗、自動販売機ねらい、部品ねらい）。安心安全なまちづくりの進展状況を見るための指標。					
		単位	件					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	402	399	397	395	393	390
		実績値	356	290				
	指標 3	指標名	自主防犯団体数					
		説明	自主防犯を行う団体数。 市民の防犯活動力を見るための指標。					
		単位	団体					
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	65	66	67	68	69	70	
	実績値	74	75					
指標 4	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	3,881	4,282	4,767			
	人件費	18,216	17,951	17,951			
収入	特定財源	436	483	488			
	一般財源	21,661	21,750	22,230			

4. 評価対象年度の施策実施内容

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組	振り込め詐欺被害防止対策	増加する振り込め詐欺被害を減少させることを目的に、市民に対する手口の周知及び対策機器購入費の補助(対象：65歳以上の市民、補助額：購入金額の2分の1、上限5,000円)を実施した。	・市内協力店舗(12店舗) ・対策機器の購入費補助(192人) ・警察と連携した手口の周知 市民の防犯意識の向上と被害防止対策が図られた。	防犯推進事業
取組	ふじみ野市防犯推進会議の登録団体の拡充	自治組織やPTAなどが中心となる従来の組織に加え、市内の事業所に対して、加盟を呼びかけ、組織の拡充を図った。	・新規登録団体(17団体) 防犯活動団体の拡充により、市内の防犯体制の強化が図られた。	防犯推進事業
取組	防犯講習会及び防犯キャンペーンの実施	市民の防犯意識の高いまちづくりを構築するため、各種防犯講習会や防犯キャンペーンを開催した。	・各種講習会(9回、延べ656人参加) ・地域に向いた防犯講話(22回、延べ1,137人参加) ・市内小学校防犯会議(延べ15回) ・防犯キャンペーン(2回) 様々な防犯活動を通して、市民の防犯意識の向上が図られた。	防犯推進事業
取組	犯罪及び防犯情報などの情報発信	警察と連携し、防犯メールや防災行政無線等を活用した周知の他、青パトによる市内巡回を実施するなど、犯罪及び防犯に関する情報発信を行なった。	・防犯メール発信(延べ51回、市内防犯メール登録者数9,169人) ・防災行政無線放送(延べ15回) ・青パトによるパトロール(延べ369回、延べ7,613km) タイムリーな情報発信により、市民・地域への注意喚起と犯罪抑止が図られた。	防犯推進事業
取組				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	<p>令和元年度は、振り込め詐欺被害件数や自転車盗などの街頭犯罪件数が減少し、刑法犯総数も前年比-191件と大きく減少した。振り込め詐欺対策機器の普及や市民に向けた防犯情報の発信、自主防犯団体による地域の防犯活動の効果がおおむね順調</p> <p>今後も振り込め詐欺を含む犯罪減少させ、治安の維持・向上を図るためには、市民に対するタイムリーな情報発信と地域の防犯活動が大きな効果をもたらす、必要不可欠である。</p> <p>そのため、行政・市民・事業所等との連携を強め、防犯活動の強化を図るほか、振り込め詐欺対策機器の普及啓発やふじみ野市防犯推進会議登録団体の拡充により、さらなる防犯体制の拡充を実施していく。</p>
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		防犯推進事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	08 防災・防犯 ~災害に強く犯罪のないまち~		
	施策	35 防犯 - 防犯体制を強化し、犯罪のないまちづくりを目指します -		
予算費目				
所管部課		総務部 危機管理防災課	評価責任者	船津 誠
事務事業期間			評価日	
個別計画 根拠法令・条例等				
埼玉県防犯のまちづくり推進条例、ふじみ野市防犯推進条例、埼玉県特殊詐欺撲滅条例				
事務事業の内容	事務事業の目的	本市は犯罪発生率が県内でも高く、犯罪を発生させない地域づくりが課題であり、自主防犯組織のリーダー育成や地域住民の防犯意識の向上を図り、地域中心の防犯活動の充実に努め犯罪の減少を目指す。		
	事務事業の経緯	平成17年10月に「ふじみ野市防犯推進条例」を制定し、市民・事業者・行政が一体となった防犯意識の高揚や各防犯推進団体と連携を図り、効果的な防犯体制を構築するために各種事業を展開してきた。また、広域での防犯活動や組織の充実に図るため「東入間防犯・暴力排除推進協議会」が平成22年に設立された。		
	事務事業の概要	地域での防犯活動の積極的展開を中心とする防犯意識の高いまちづくりを進めるために、防犯リーダー講習会や防犯パトロール講習の継続的な発展を目指すとともに、この講座の参加者が中心となった地域での新たな組織的防犯活動の創出を促進する。		
	令和元年度の主な取組	振り込め詐欺等対策機器の購入費補助 増加する振り込め詐欺被害を減少させることを目的に、対策機器購入費の補助を実施する。 (対象：65歳以上の市民、補助金額：購入金額の2分の1、上限5,000円) ふじみ野市防犯推進会議の登録団体の拡充 自治組織やPTAなどは中心となる従来の組織に加え、市内の事業所に対して加盟を呼びかけ、組織の拡充を図る。		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.25	2.25	2.25
		人件費	18,216	17,951	17,951
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		18,216	17,951	17,951	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	1,491	1,326	1,813	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	1	0	1	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	2,226	2,722	2,630	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	164	234	323	
支出合計		22,097	22,234	22,718	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	436	483	488
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		21,661	21,751	22,230	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		190	190	191	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標	指標名	刑法犯総数		
	説明	市内の刑法犯罪発生件数。 安心安全なまちづくりの進展状況を見るための指標。		
活動	単位	件		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	910	900	891
	実績値	935	744	
指標	指標名	街頭犯罪件数		
	説明	市内の街頭犯罪発生件数。 刑法犯罪のうち8罪種（路上強盗、ひったくり、自動車盗、車上ねらい、オートバイ盗、自転車盗、自動販売機ねらい、部品ねらい）。 安心安全なまちづくりの進展状況を見るための指標。		
活動	単位	件		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	402	399	397
	実績値	356	290	
指標	指標名	自主防犯団体数		
	説明	自主防犯を行う団体数。 市民の防犯活動力をみるための指標。		
活動	単位	団体		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	74	75	76
	実績値	74	75	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【事業内容】
	市民の防犯意識の高いまちづくりを構築するため、各種防犯講習会や防犯キャンペーンの開催及び犯罪情報や防犯情報などの情報発信を実施した。 市民や事業者などで構成されるふじみ野市防犯推進会議の拡充と防犯活動の支援を実施した。 振り込め詐欺被害防止を目的とした警察と連携した手口の周知及び防犯体制強化のための振り込め詐欺等対策機器の購入費に対する補助を行った。
【事業効果】	市民一人ひとりの生活環境に合わせた防犯活動の推進やタイムリーな情報発信により、市民の防犯意識の向上が図られたほか、青パトなどの各種団体や事業所などに対する活動支援及び活動団体の拡充により、市内の防犯体制が強化された。 また、振り込め詐欺にかかる注意喚起と併せて対策機器購入費補助制度の周知を実施するなど、効果的な取り組みにより、被害抑止が図られた。
	【事業実績】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青色防犯パトロール講習会（2回、延べ89人参加）</li> <li>・わんわんパトロール講習会（42人参加）</li> <li>・地域防犯リーダー講習会（52人参加）</li> <li>・親子防犯教室（幼稚園4か所、延べ384人参加）</li> <li>・市職員による防犯講話の実施（22回、延べ1,137人参加）</li> <li>・市内小学校において、校区内防犯パトロール情報交換会議を開催。（12校、延べ15回）</li> <li>・県条例で定める「減らそう防犯の日」に合わせた秋の防犯キャンペーン（10月18日）を上福岡駅で、また、年末街頭キャンペーン（12月12日）を上福岡駅、ふじみ野駅で実施。</li> <li>・防犯メール配信（延べ51回、市内防犯メール登録者9,169人） 令和元年度実績</li> <li>・ふじみ野市防犯推進会議の拡充（147団体、うち新規加盟17団体）</li> <li>・振り込め詐欺等対策機器の購入費補助（192人補助、合計895,400円）</li> </ul>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	街頭犯罪のほか、振り込め詐欺などの多種多様な犯罪被害がある状況の中、犯罪減少のためには、タイムリーな情報発信と地域の防犯活動が大きな効果をもたらす、必要不可欠である。 また、防犯活動の推進には、行政・市民・事業所等との連携が重要であることから、引き続き連携した防犯活動の強化を図り、更なる防犯意識の向上と防犯活動の拡充を実施していく。
中長期的方向性	
拡充	